

こんな姿をめざしたい!!

# 得られる情報から理科の見方・考え方を働かせ、知識・技能を活用する



## 問題の概要

天気図などを資料として、気圧配置と風の吹き方や天気の特徴の関係を見出させるとともに、日本の天気の特徴を日本周辺の気団と関連付け考える問題。

見方⇒時間的・空間的視点  
(方角, 風向, 位置)  
考え方⇒「関連付ける」「多面的に考える」

## ここがつまずき!

- 天気図における、方向、等圧線について理解できていない。
- 気圧と風の向きについての関係を理解していない。
- 気象が大陸の影響を受けながらも海洋の影響を受けていることを、空間的、時間的に考えられていない。



## 2学年の学習で...

# 日々の学習における改善・充実

### 【課題の設定】

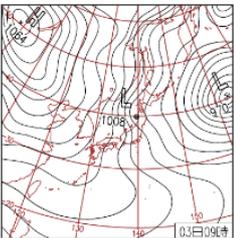
図(例えば天気図)などを見て、様々な知識と関連付けて考えられるようにする。

こんな問いかけしてみませんか?

他のグループの考えも聞いてみよう。

### 【課題の解決】

意見交換したり、科学的根拠に基づいて議論したりして自分の考えをより妥当なものとする。



これはどの季節の天気図だと思う?  
山梨県はどこかな?  
山梨県での風向は?  
日本のどの辺りに雲があるかな?  
1日後の天気は?

なるほど。

そういう考え方もあるのか。

いろいろな場面で ICT 機器を有効に活用する。

- 天気図
- 衛星画像
- 雲の動きの動画など

ICT活用!



### 【課題の探究】

- 個人で考える。(記述・図など)
- 根拠をもとに考える。
- 自分の考えを周りに伝える。



山梨県はここだね。

高気圧がここで、低気圧がここだから、山梨では風はこの方向に吹くね。



実際に映像で見ると、風の向きや、雲の位置がよくわかるね。

このとき、理科室の外で吹くと考えられる風の向きを考えてみよう。

ここからだ、富士山が南だね。だから風はこっちから吹いてくるね。

他の季節の天気図も調べたいね。

### 【次の探究の課程】

科学的な概念を形成し次の学習や日常生活などにおける課題の発見につなげる。

授業改善の POINT

## 教材の提示や発問を工夫し、生徒が多面的に考えられるような場面を設定しよう!

